

公の施設指定管理制度導入に対する評価

評価期間:令和4年4月1日～令和5年3月31日

| | | | |
|--------|--|----------|---|
| 施設名 | 眉山ロープウェイ | | |
| 指定管理者 | 阿波おどり会館・眉山ロープウェイ運営共同事業体 | 担当課 | にぎわい交流課 |
| 指定期間 | 平成30年4月1日から令和5年3月31日まで | 公募・非公募の別 | 公募 |
| 施設の所在地 | 山麓駅舎:徳島市新町橋2丁目20番地 山頂駅舎:徳島市眉山町茂助が原1番地 | 事業の概要 | 眉山ロープウェイ施設維持管理設備等の保守・点検業務、ロープウェイ運転業務、受付業務 |
| 施設の概要 | 山麓駅舎:阿波おどり会館5階 山頂駅舎:鉄筋コンクリート地下1階2階建 | | |

| | 項目名 | 令和3年度 | 令和4年度 | 項目名 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 利用状況に関する事 | 利用者数等 | 86,832人 | 172,632人 | 自主事業参加人数 | 人 | 人 |
| | 利用回数 | 回 | 回 | 事業開催数 | 回 | 回 |
| 収支状況に関する事 | 指定管理料 | 0千円 | 0千円 | 人件費 | 35,035千円 | 35,388千円 |
| | 利用料収入 | 38,638千円 | 77,427千円 | 管理費 | 24,605千円 | 34,449千円 |
| | その他収入 | 1千円 | 37千円 | その他 | 5,339千円 | 9,323千円 |
| | 収入実績(総額) | 38,639千円 | 77,464千円 | 支出実績(総額) | 64,979千円 | 79,160千円 |

| 自主事業 | 項目名 | 令和3年度 | 令和4年度 | 項目名 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------|------|-------------------------|---|----------|-------|---------|
| 利用状況に関する事 | 事業内容 | 山頂展望休憩施設管理、自動販売機設置事業の実施 | 山頂展望休憩施設管理、自動販売機設置事業の実施、春と秋のマチアソビ声優によるガイドアナウンスの実施 | 自主事業参加人数 | 人 | 人 |
| 収支状況に関する事 | 収入 | 1,620千円 | 2,481千円 | 支出 | 894千円 | 2,831千円 |

| 評価基準・評価項目 | | 指定管理者自己評価コメント | 担当課評価 |
|-----------|---|--|-------|
| 施設管理体制 | (1) 法令等遵守 | 適宜、職員会議を開催し法令等遵守、安全管理の情報共有、緊急時マニュアルの確認等も行いました。職員研修に関しても必要時に実施し、備品等に関しても整理整頓し、返却等の確認をしました。また、年に1回の救助訓練も実施しました。利用促進については、コロナ禍ではありますが、ホームページ・SNS等により広報を実施しました。また、乗車人数の上限を設け制限するなど、コロナ対策には万全を期して取り組みました。 | A |
| | (2) 職員配置 | | |
| | (3) 職員研修 | | |
| | (4) 利用促進の取組み | | |
| | (5) 設備・備品管理 | | |
| | (6) 安全管理体制 | | |
| | (7) 緊急時の体制 | | |
| 利用者に関する業務 | (1) 利用状況 | コロナ禍でインバウンドや観光客が激減。かなり厳しい利用状況ではありますが、利用料金等の変更もせず、接客についても親切・丁寧を心がけるようスタッフに周知徹底しました。個人情報に関しても取扱いに細心の注意を払いました。また、施設利用のリピーター獲得を図る「阿波おどり会館MEMBERS」を創設し、会員スタンプカードを配布。一定以上の利用料金支払いでロープ乗車券無料等サービスを実施しました。 | A |
| | (2) 平等な利用 | | |
| | (3) 利用料金 | | |
| | (4) 接客対応 | | |
| | (5) 個人情報保護 | | |
| | (6) サービス向上の取組 | | |
| 施設管理業務 | (1) 保守点検業務 | 保守点検につきましては、法令等及び計画に基づいて実施、確認しました。特に清掃については、委託業者のみならず会館職員も気づいたら清掃を実施。修繕に関しては大きな修繕等は徳島市と協議し、小さい修繕に関しては早急に手配し実施しました。 | A |
| | (2) 清掃等維持管理業務 | | |
| | (3) 修繕等維持管理 | | |
| 事実業 | (1) 企画運営事業 | 自主事業としてはコロナ対策を行い山頂展望休憩施設の管理をしました。春と秋のマチアソビ期間中、声優によるロープウェイガイドアナウンスを実施。12月には眉山山頂展望広場でイルミネーションを実施しました。 | A |
| | (2) 自主事業 | | |
| 経理状況 | (1) 施設収支状況 | コロナ禍により、インバウンドの減少(0に等しい)、国内も団体旅行者が著しく減少したことにより、厳しい経営状況でした。その中で電灯の細かな消灯等経費の削減に努めました。 | A |
| | (2) 指定管理者経営状況 | | |
| | (3) 経費の縮減 | | |
| 評価基準 | S:優れている(協定書、仕様書、事業計画書より優れた管理が行われた。) A:適正に管理されている(協定書、仕様書、事業計画書に沿った管理が行われた。) B:一部に改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の一部が実施されなかった。) C:多くに改善を要する(協定書、仕様書、事業計画書に記載の多くの内容が実施されなかった。) | | |

| 担当課総合評価コメント | | 総合評価 |
|--|---|------|
| 索道事業について、日々の点検や安全配慮をはじめ、安全運行に努め、機器のトラブルが起こった際の対応について概ね協定書等に沿った管理運営を行うことができていました。 | | A |
| 総合評価基準 | S:優れている(各評価基準ごとの担当課評価にSがあり、その他はAである。) A:適正に管理されている(各評価基準ごとの担当課評価が全てAである。) B:一部に改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にBがあり、Cはない。) C:多くに改善を要する(各評価基準ごとの担当課評価にCがある。) | |